

議会報告会を開催しました

3月定例会の議会報告会を開催しました。4会場で延べ123名のご参加をいただきました。

【第1部】3月議会の報告 【第2部】意見交換（若者が住みたい地域づくり）

開催年月日	場 所	参加者数
平成25年5月10日（金）	コミセン小ホール	26
平成25年5月11日（土）	善防公民館	12
平成25年5月14日（火）	南部公民館	31
平成25年5月17日（金）	北部公民館	54



南部公民館（5月14日）

■いただいた意見と回答、要望（アンケート含む）

【3月議会の議案について】

○請願の議長裁決について、今回は現状を維持するという形をとったが、議案によっては議長が賛成をしても反対をしてもよいのか。

→本会議において賛否同数の場合は議長の判断で決まる。議会運営規則の中に現状維持の原則があり、今回はその原則に従った。

【意見交換のテーマ「若者が住みたい地域づくり」について】

○加西市はまだまだ周辺自治体に比べて公共料金や生活費が高い。施策は色々つくっているがまだまだ不足している。新婚世帯の家賃補助にしても3年では短すぎる。

→加西市は公共料金等が高いと言われるが、税金、固定資産税は他と同じ、水道料金にしても加東市よりは若干安い。新婚世帯の家賃補助にしても財源があれば5年、10年としたいが、そんなにゆとりがないので3年になっている。今後議会として有効な施策となるような提案をしていきたい。

○加西市は交通機関もないし、店が閉まるのも早い。若い人はどうしても市外に出て行って、市外に定住してしまう傾向が強いと思う。もう少し他市とつながるインフラ整備、早朝、夜の交通事情を改善できないか。

→交通弱者いわゆる高齢者の対策は考えてきたが、これからは若者を対象とした交通アクセスも考えていきたい。

○11小学校の存続ということは市長の公約でもあるが、善防地区においては中学校でさえ近いうちに単学級になってしまう。人口減時代を見据えた対策をとるべき、市の財政も考えて学校の統廃合を考えていきたい。

○加西市就職ナビには何の魅力もない。若者はあんまり自治体や子供会の活動をしたくないと思っている。若者が魅力を感じるような自治体づくりをしてほしい。

○市内の大企業の社員にしても、子どもの教育環境を考えると、加古川等他地域に住まざるを得ないというのが現在の状況。

○若者が市外へ出ていく理由の1つに加西市の消防団の問題があると思います。必要性は認めるものの、消火活動に無用の礼式訓練など拘束時間に不満を持つ若い人がなかなか入ってくれず、団員数維持のため40歳代半ばでも退団できない人がいます。話を聞くと、消防団が嫌で40歳～50歳くらいまで都市部から戻って来ない人もいるそうです。団長や分団長だけでなく、一般団員の意見も聞きながら、消防団のあり方を考える時だと思います。

【5万人都市再生について】

○頑張って取り組まれているが、どこの都市を見ても人口が減っている時代にこの目標はあまりにもハードルが高い。現在昼間の人口は増えていて、活気がある。もっと企業を元気にして昼間の人口を増やすべきである。

→工業団地には他都市から大勢の人が加西市に働きに来ている。そのあたりはさらに力を入れてやっていきたい。

○人口減、少子高齢化は国レベルの流れであり、人口増を目的・目標とするのは少し疑問に思う。むしろ、本質的に「住みよい町」「誇りの持てる町」を目指して欲しい。

※詳細な内容については、議会ホームページをご覧ください。